

【会長賞】

三浦 一喜(鶴岡市)「朝霧漂う」(撮影:鶴岡市内)

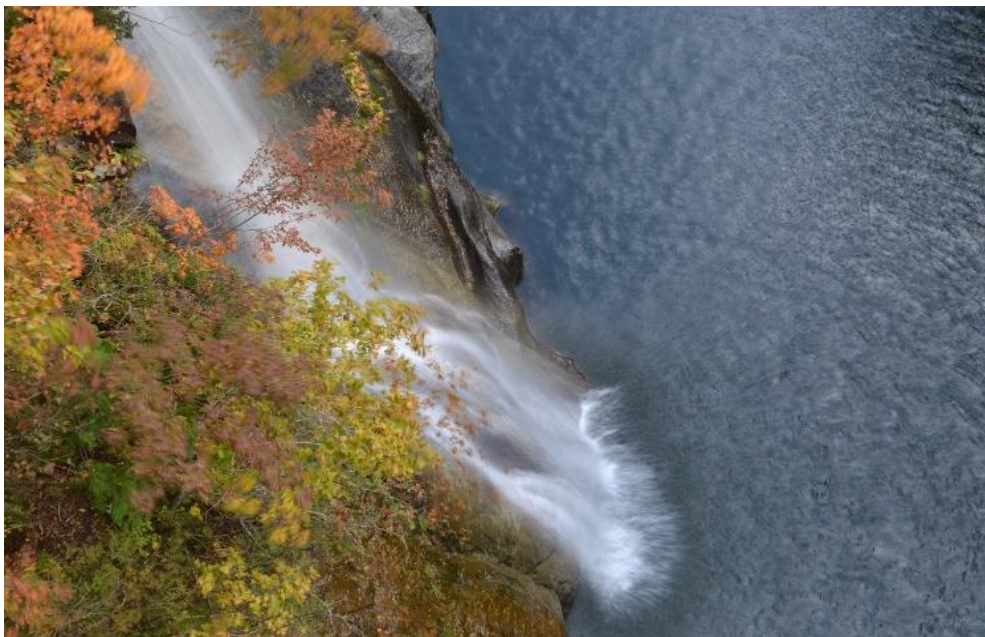


【審査員講評】

朝の静けさ、朝霧の漂う様は神秘さを感じます。手前の立ち枯れた稲のような、草紅葉なのか波うってるようでなんだろうと見入ります。アンバーな色調で雰囲気が増してます。

【副会長賞】

田村 昭一(村上市)「癒しの滝」(撮影:村上市内)



【審査員講評】

滝を上から撮影し勢いよく水流が飛沫をあげて青い水面に溶け込む様、また紅葉の色がこの作品の魅力となっております。

【優秀賞】

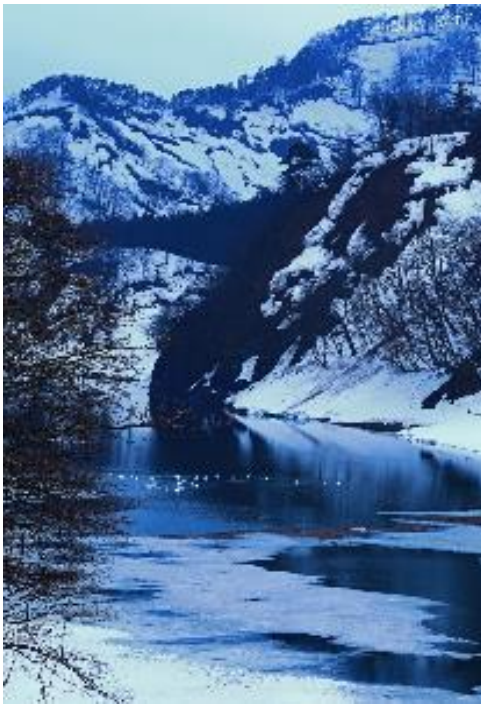
木村 東仁(岩手県一関市)「若葉芽吹く二子島」(撮影:村上市内)



【審査員講評】

見事な萌色です。
この時期ならではの光景となっております。是非、行ってみたいですね。

齋藤 勝美(山形市)「遅い春」(撮影:鶴岡市内)



【審査員講評】

ブルーな色合いがまだ寒さを感じますが白鳥が羽を休め、山腹の雪が落ち溶けて、春が待ち遠しい感じがします。

石崎 幸宏(庄内町)「静かに深まる山の秋」(撮影:鶴岡市内)



【審査員講評】

微妙な秋色の木々が重なり合い、水鏡を何百色のパステルで描いた絵となって眼に飛び込んて来ます。

【入選】

貝沼 カツヨ(村上市)「快晴の二子島」(撮影:村上市内)



【審査員講評】

青い空、白鳥のボート、赤い橋、のんびりと散策や湖に出ていきたいです。

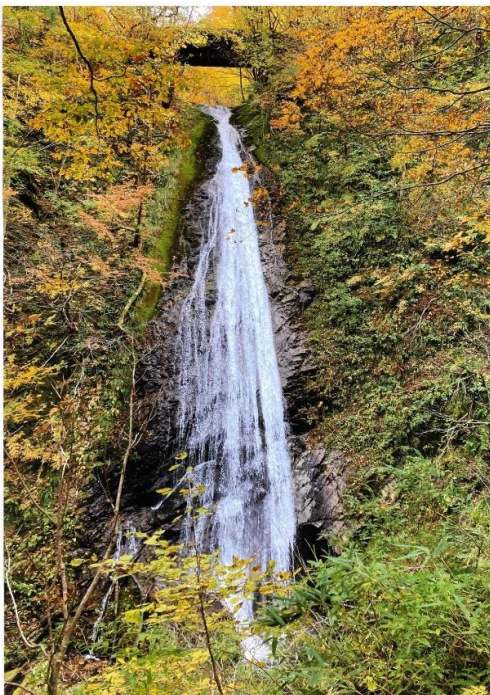
鷲尾 憲人(村上市)「秘境」(撮影:村上市内)



【審査員講評】

トンネル効果を利用して風景を切り取った構図が見る人に納得感を与えます。

相田 誠(鶴岡市)「色あざやかな大滝」(撮影:村上市内)



【審査員講評】

秋色が混在し、滝をストップさせて時間が止まっているような作品です。

【入選】

五十嵐 貞一(鶴岡市)「赤川支流・小俣川」(撮影:鶴岡市内)



【審査員講評】

段差のある川の変化が面白い所です。新たな桜の名所だと思います。

小檜山 裕行(宮城県角田市)「里山に生きる」(撮影:鶴岡市内)



【審査員講評】

昼間にたぬきは珍しい写真です。たぬきもカメラマンもびっくりした事でしょう。

武谷 捷夫(鶴岡市)「かたくり園散策中」(撮影:鶴岡市内)



【審査員講評】

カタクリではなく人物にピントを合わせたのは気になる人だったのでしょか。